

株主・投資家とシチズン

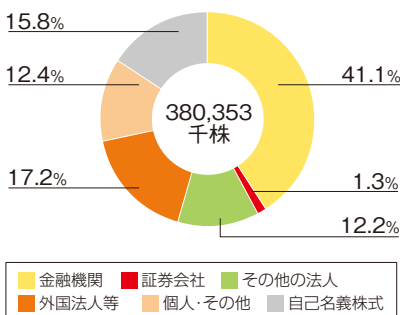
シチズンホールディングスは、顧客や株主、お取引先、あるいは地域社会など、さまざまなステークホルダーの皆様と日々の対話を通じて良好な関係を築き、企業価値の向上と、またそれにふさわしい株価の形成をめざしています。その達成に向け、信頼性の高い情報の適時・適切な開示を徹底し、金融商品市場における健全かつ公正な価格形成と円滑な流通の確保に努めています。また、年4回の決算発表と決算説明会、個別ミーティングや各IRイベントを実施し、また同時に、自社WEBサイトの内容充実を進めることで、より多くの皆様とのコミュニケーション機会の増加に取り組んでいます。



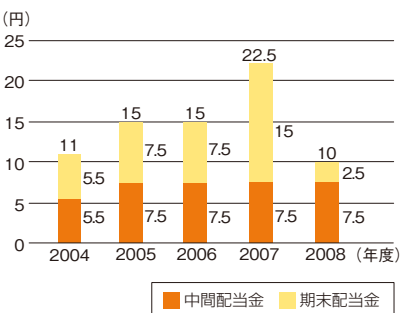
利益還元方針

シチズンホールディングスは、配当および自己株式取得の合計額の、連結当期純利益に対する比率を「株主還元性向」と捉えています。この方針を定めた2005年度以降、3年～5年の期間で比率を平均30%以上とすることをめざしています。配当につきましては、連結業績との連動と安定配当のバランスを勘案し決定します。また、自己株式取得については、一株あたりの利益増加による株主還元とともに、資本効率の向上をめざしています。

所有者別株式分布(2009年3月31日現在)



1株あたり配当金の推移



情報開示とIR活動

シチズンホールディングスは、株主・投資家の皆様との日々の対話が株主構成の裾野を広げ、企業価値にふさわしい株価形成につながると考え、株主・投資家の意思決定に必要な信頼性の高い情報を適時・適切に開示するよう努めています。

IR活動では、情報ニーズの把握と対話を重視しており、年4回の決算発表と決算説明会をはじめ、個別ミーティング、工場見学会、IRイベントや証券会社で行われるカンファレンスへの参加など、コミュニケーションの機会を増やしています。また、自社のWEBサイトや説明会資料の整備、内容の充実にも取り組んでいます。

開かれた株主総会

シチズンホールディングスは、より多くの株主の皆様にご定時株主総会に出席していただけるよう、集中日を避け、収容人数や交通アクセスに配慮して会場を決定しています。

2008年6月の総会には、337名の株主の皆様にご出席いただきました。また、2007年の総会からは、議決権を行使しやすいよう、機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームの利

用を可能にしました。さらに、シチズングループにより親しんでいただけるよう、種々製品展示を行うとともに、意見や質問をいただきやすい仕組みづくり、スムーズな運営などを心がけています。

インサイダー取引の防止

シチズングループは、インサイダー取引を未然に防ぐための規則の制定・変更などの必要な手続きを順次実施しています。シチズンホールディングスと国内連結子会社各社では、各社役員と重要事実を扱う可能性が高い社員による売買を、許可制としています。

外部機関からの評価

シチズンホールディングスは、2004年から5年連続で、ベルギーのエティベル社の「エティベル・サステイナビリティ・インデックス」に選ばれています。また、財務内容において、2009年3月現在、ムーディーズ社から「A2」（信用力が高く、信用リスクが極めて低いと判断される債務に対する格付け）を

